BMB
USEN GROUP

取扱説明書

赤外線ワイヤレスマイク
WM-700

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、赤外線ワイヤレスマイクをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は常に保証書と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
またお読みになったあと、必要に応じていつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

絵表示の例

感電注意

△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

設置されるとき

⚠警告

禁止
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたり、けがの原因となることがあります。

水場での使用禁止
- 水場では使用しないでください。火災の原因となります。

設置されるとき

⚠警告

禁止
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちて、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に水など入った容器を置かないでください。こぼれた場合、火災の原因となります。

⚠注意

禁止
- 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- 調理室や加湿器のそばなど湯煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠警告

禁止
- 本機の近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災の原因となります。
- 充電端子を金属でショートさせないでください。火災の原因となります。
- 充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災の原因となります。

注意
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに本機本体の電源スイッチを切ってください。煙などが出ている状態で電源スイッチを切る場合は、ケースが加熱してやけどの危険がありますので、かならず厚手の手袋などをつけて電源スイッチを切ってください。煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。
- 万一、本機の内部に水または金属類が入った場合は、本機の電源スイッチを切って取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず電源スイッチを切って取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

⚠注意

分解禁止
- 本機を分解・改造しないでください。火災・やけどの原因となることがあります。

禁止
- 乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。落としたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

注意
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電池を本機から取り出してください。火災の原因となることがあります。

電池について

⚠警告

注意
- 電池は乳幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池について

⚠ 警告

禁止

- 付属のニッケル水素電池・単３形マンガン電池・単３形アルカリ電池以外を使用しないでください。火災の原因となります。
- 使用済みの電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

- 当社指定のマイク・充電器・電池以外を使用しないでください。火災の原因となります。
- 電池の電極はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。電池を単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。
- 電池は金属製のボールペン、ネックレス、コインなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス（＋）端子とマイナス（－）端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

注意

- 新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池の極性表示（プラスとマイナスの向き）を確認してから本機内に挿入してください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 古い電池を廃棄する場合は、他の廃棄物と区別して廃棄処分してください。
- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

お手入れについて

⚠ 注意

注意

- 表面を傷める原因となることがありますので、外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、殺虫剤を直接散布することは避けてください。化学ぞうきんのご使用も避けてください。お手入れは必ず柔らかい布で乾拭きしてください。
- 1年に一度くらいは内部の掃除を取扱店などにご相談ください。この機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については取扱店などにご相談ください。
- お手入れの際は、電源を切り、電池を本機から取り外してから行ってください。事故の原因となることがあります。

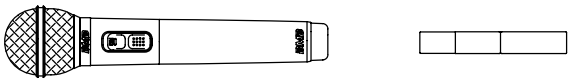
特　長

- 単一指向性ダイナミック型マイクロホンユニットを採用し、音質と信頼性を重視した設計となっております。
- マイク本体にあるチャンネル切り換えスイッチを使って、2MHz帯域のA/B・2チャンネルと、4MHz帯域のA/B・2チャンネルの４種類のチャンネルを切り換えて使用できます。
- 電源は充電式専用ニッケル水素電池、または単３形乾電池が使用できます。

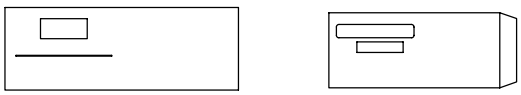
梱包内容

- この梱包箱の中には、次の物品が入っています。確認をしながら開梱をしてください。

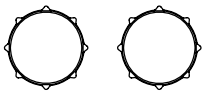
1. 赤外線ワイヤレスマイク　　2. 専用ニッケル水素電池



3. 取扱説明書（本書）　　4. 保証書



5. 転がり防止用ゴムリング（赤色、黒色各１個）



使用上の注意

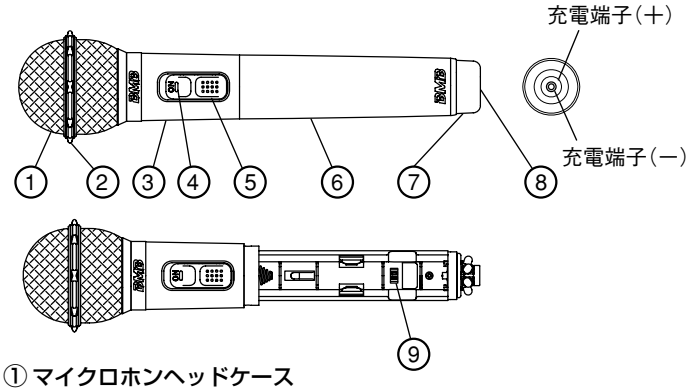
警告

- 電池は必ず付属の専用ニッケル水素電池、市販の単３形マンガン乾電池、単3形アルカリ乾電池をご使用ください。他の電池を使用しますと、火災・故障の原因となります。
- 専用ニッケル水素電池をご使用の際は、充電器は必ず専用のMC-330(＊1)をご使用ください。他の充電器を使用しますと、故障や事故の原因となります。

＊１：本書では専用充電器MC-330を主に説明しています。他に下記充電器も使用できます。充電のしかた、注意事項などの詳細については、充電器の取扱説明書をご覧ください。
（使用可能な充電器）
・MC-500L/R　・MC-950　・MC-950MK Ⅱ　・MC-100
注：MC-100 使用時、本機は急速充電には未対応です。

- 赤外線を使用して音声を送信していますので、受光センサーから離れるに従って雑音が出たり、マイクと受光センサーの間に障害物がある場合は、到達距離が短くなり、雑音が出たり、音がとぎれたりすることがあります。太陽光線など強い光源のある場所では、この影響を受け正常に動作しない場合があります。これらの現象は赤外線の特性によるもので故障ではありません。
- マイクの赤外線発光部や受光センサーの表面を手で覆ったり、表面が汚れていたりしますと受信不良の原因になります。表面が汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 同じ周波数帯で、同じチャンネルのマイクを同時に2本使用することはできませんので、ご注意ください。
- マイクをスピーカーの近くでご使用になりますとハウリングが起こりやすくなりますので、マイクとスピーカーの距離は離してご使用ください。
- マイクを床に落としたり、濡らしたりしないでください。特にマイクロホンヘッドケースが変形したり、濡れたりすると、音質が変わることがあります。また、強い衝撃を与えると、内部の精密な部品が破損し、故障の原因となります。
- 高温、多湿の場所および太陽光線の当たる場所での使用や保管は避けてください。
- 電池の交換は必ず本機の電源スイッチを切っておこなってください。

各部の名称とはたらき



① マイクロホンヘッドケース

② 転がり防止用ゴムリング

- 赤色、黒色各 1 個ずつ付属しております。

③ ケース上

④ 電源表示ランプ（チャンネル表示兼用）

- 電源スイッチをONにすると点灯します。また、チャンネル設定により電源ランプの表示色が変わります。表示色については「チャンネル切り換え方法」の項の「チャンネル設定表」を参照ください。
- 専用ニッケル水素電池をご使用時に電源スイッチをONにしても電源表示ランプが点灯しない場合は、専用充電器を使用して充電してください。単3形乾電池をご使用の場合は、新しい乾電池と交換してください。
- ご使用中に電源表示ランプが点滅を始めたら、電池が消耗しています。専用ニッケル水素電池の場合は専用充電器を使用して、充電してください。単3形乾電池をご使用の場合は、新しい乾電池と交換してください。

⑤ 電源スイッチ

- 電源スイッチを「ON」側にスライドすると電源が入り、動作状態になります。反対側にスライドすると電源が切れます。

⑥ ケース下

⑦ 赤外線発光部

- マイク音声を送信する部分です。

⑧ 充電用端子

- 専用ニッケル水素電池を充電するための端子です。
- 外側：(＋)端子、内側：(－)端子

⑨ チャンネル切り換えスイッチ

- マイクのチャンネルを切り換えるスイッチです。ご希望のチャンネルに設定しご使用ください。チャンネルの切り換え方は「チャンネル切り換え方法」の項を参照してください。
- 工場出荷時の設定は2MHz帯のチャンネルAです。

操作の手順

1 電源スイッチを「ON」側にスライドしてください。
2 電源表示ランプが点灯し、電源が入ります。
3 ご使用後は、電源スイッチを反対側にスライドしてください。
4 電源表示ランプが消灯し、電源が切れます。

電池の連続使用時間について

- 電池の連続使用時間は、下記の表を目安にご使用ください。(満充電状態)

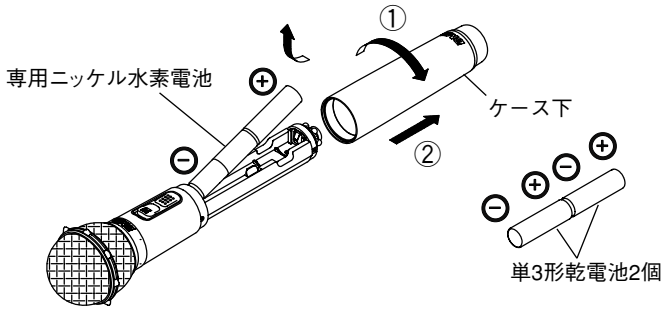
電池の種類	連続使用時間
専用ニッケル水素電池	約８時間
単３形マンガン電池	約３時間
単３形アルカリ電池	約８時間

- 付属の専用ニッケル水素電池を初めてご使用されるときや、長期間ご使用にならかったときは、充電してからご使用ください。
- 経済的にご利用いただくためには、充電ができる専用ニッケル水素電池のご使用をおすすめいたします。

電池の交換

1 ケース下を図のように①の方向に回して、②の方向に引いて外してください。電池収納部が出てきます。
2 電池を取り出します。電池の(＋)側を指でつまんで取り出してください。
3 新しい電池を入れます。電池の(＋)(－)の極性に注意し(－)側から入れてください。
4 ケース下を挿入し、図と反対方向に回して、取り付けてください。

- 電池交換は、必ず電源スイッチを切ってからおこなってください。
- ニッケル水素電池は、本マイク専用電池をご使用ください。
- 単３形乾電池をご使用の場合は、図のように２個直列に入れてご使用ください。

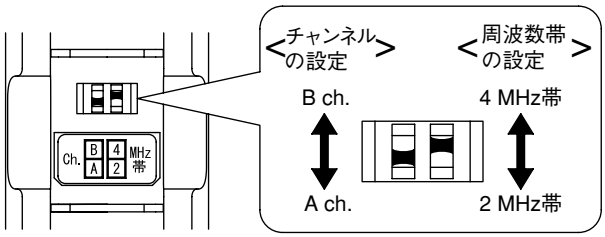


チャンネル切り換え方法

マイクのチャンネル切り換えは、レシーバーにあわせて設定をおこなってください。

1 マイクの電源を切り、ケース下を外し、電池を取り出します。
電池収納部にチャンネル切り換えスイッチが見えます。
- ケース下の外し方、電池の取り出し方は「電池の交換」の項を参照してください。

2 チャンネル切り換えスイッチをボールペンの先などの細いもので切り換え、ご希望のチャンネルに設定してください。
(チャンネルの設定は下図･表を参照ください。)
3 電池を入れ、ケース下を取り付けます。



＊図の例では4MHz帯のAチャンネルに設定されました。
＊各チャンネルの送信周波数については「仕様」の項を参照ください。

(チャンネル設定表)

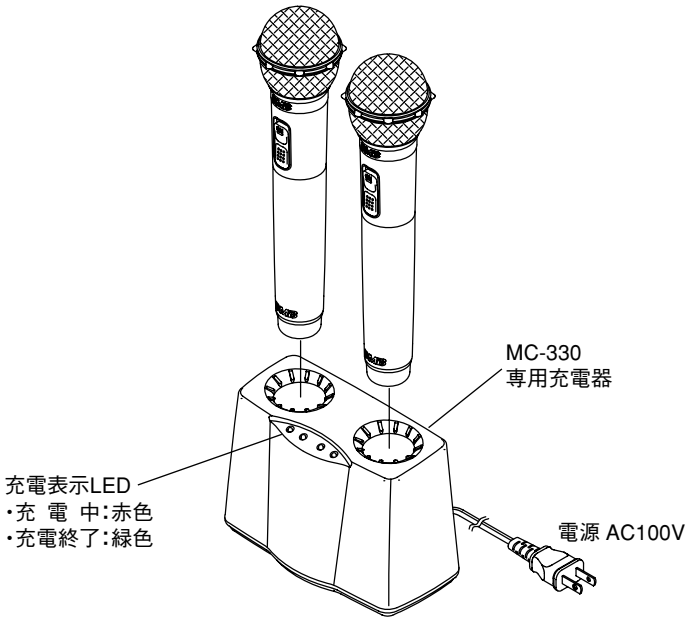
周波数帯域	チャンネル(電源ランプ色)	切り換えスイッチ設定位置	使用レシーバー
2MHz帯	A ch.(緑)(＊2)		･WT-3300 ･WT-4000 ･WT-5000 ･WT-5000MKⅡ ･WT-1000(＊3)
	B ch.(赤)		
4MHz帯	A ch.(青)		･WT-9500 ･WT-9600 ･WT-9600PW ･WT-1000(＊3)
	B ch.(紫)		

＊２：工場出荷時の設定は 2MHz 帯のチャンネル A です。
＊３：詳細についてはレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

充電のしかた

1 充電器は、専用充電器MC-330（＊1：「使用上の注意」の項を参照）をご使用ください。
2 専用充電器MC-330の電源プラグをACコンセント（AC100V）に差し込みます。
3 専用ニッケル水素電池を使用したマイクを静かに差し込みます。
4 充電器の充電表示LEDが赤色に点灯し、充電を開始します。
マイクを充電器に入れても、充電表示LEDが赤色に点灯しない場合は、もう一度入れなおしてください。
5 約８時間後、充電器の充電表示LEDが緑色に点灯し、充電を終了します。

- 専用充電器MC-330は同時に２本のマイクを充電することができます。
- 充電する場合は、マイクの電源スイッチを切ってからおこなってください。
- ケース下を外した状態で充電しないでください。充電器の故障の原因となります。
- マイクおよび充電器の充電端子が汚れていると、充電できないことがありますので、充電端子はいつもきれいにしてご使用ください。
- 充電できる電池は、このマイクに付属している専用ニッケル水素電池のみです。単３形乾電池など、他の電池が入っている場合は、充電できません。



専用ニッケル水素電池について

- 初めてご使用されるときや、長期間ご使用にならなかったときは、充電してからご使用ください。
- 充電時間は専用充電器（MC-330）にて約８時間です。充電時間をすぎましたら、速やかに充電をお止めください。
- 充電はできるだけ電池を使い切ってからおこなってください。電池を使い切らないで充電すると、十分に充電をおこなってもすぐに電池が切れることがあります。この現象を防ぐためには、最低でも月に一回電池を使い切ってから充電することをおすすめします。
- 電池の寿命は正常なご使用で約1年、または充電回数で約500回です。十分に充電されて、通常より早めに電池が切れるときは電池の寿命と考えられますので、新しい電池と交換してください。
- マイクおよび充電器の充電端子が汚れていると、充電できないことがありますので、充電端子はいつもきれいにしてご使用ください。
- 充電は必ず専用充電器（MC-330）と専用ニッケル水素電池をご使用ください。他の充電器やニッケル水素電池を使用しますと故障の原因となりますのでお止めください。
- 希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったニッケル水素電池は廃棄せず、ニッケル水素電池リサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

故障かな？と思ったら

本機の使用中に「故障かな？」と思ったら、下記の事項をチェックしてください。そのうえで正常に動作しない場合、また下記以外の異常が認められた場合は、本機の取扱店にご連絡ください。

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
電源が入らない	マイクの電池残量は十分でしょうか？	マイクの電池を充電してください。または、電池を交換してください。
	電池は正しく入っていますか？	電池を正しくいれてください。
受信しない	マイクとレシーバーのチャンネルはあっていますか？	マイクとレシーバーのチャンネルをあわせてください。
	マイクの発光部を握っていませんか？	マイクの下部（赤外線発光部）を持たないでください。
充電してもすぐに電池が切れる	充電は正しくおこなわれましたか？	再度充電をしてください。それでもすぐに電池が切れる場合はニッケル水素電池の寿命が考えられます。取扱店にご相談ください。
マイクが異常に熱くなる	専用ニッケル水素電池が熱くなっていませんか？	専用ニッケル水素電池を交換してください。交換しても改善されない場合は、取扱店にご相談ください。

仕　様

■ 一般特性

電源 …… DC 2.4V ～ 3V［付属の専用ニッケル水素電池または、市販単３形乾電池］
動作温度範囲 …… 0 ℃～ 50 ℃
外形寸法 …… Φ 62 × 250mm（最大直径×長さ）
重量 …… 320g（ニッケル水素電池を含む）

■ マイク特性

使用マイクロホン …… 単一指向性ダイナミック型
平均入力音圧レベル …… 94 dB SPL（ボーカル用）
周波数特性 …… 50 Hz ～ 15 KHz
コンプレッサ特性 …… 1/2 対数圧縮
歪率 …… 1 %以下

■ 発光部特性

送信周波数

周波数帯域	チャンネル	周波数
2MHz 帯	A ch.	2.06 MHz
	B ch.	2.56 MHz
4MHz 帯	A ch.	4.55 MHz
	B ch.	4.95 MHz

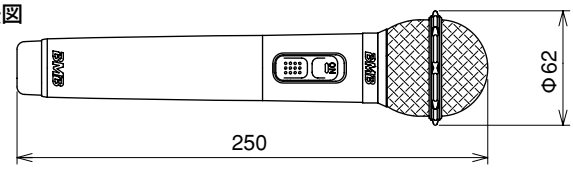
トーン信号 …… 36.0kHz
赤外線の直線到達距離 …… 約 7m（＊4）

＊4：赤外線は直進する性質を持っているため、マイクの赤外線発光部と受光センサーの間に障害物があると到達距離が短くなり、音切れや雑音の原因となります。

■ 付属品

専用ニッケル水素電池 …… 1
転がり防止用ゴムリング（赤色、黒色各１個）…… 2
取扱説明書 …… 1
保証書 …… 1

■ 寸法図



※本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 BMB

2009/11　811001312A